

# 箬荷だいすき

発行/むら芝居と花の里 はせがい

兵庫県多可町加美区箬荷 季刊(年4回)

編集/箬荷新聞編集委員会

URL <http://www.haseshow.com>

2008年 6月27日発行 VOL.56

## むらづくり委員会・むら芝居保存会の合同会議を開催

7月24日(木)夜8時~

箬荷むらづくり委員会とむら芝居保存会の合同会議が次のとおり開催されます。むらづくり委員会委員さん、むら芝居保存会の方、むら芝居サミット(新潟県上越市)に参加してみようという方、ご出席をよろしくお願いいたします。

とき 7月24日(木)午後8時~ むらづくり館

23日(水)の予定でしたが、都合により変更になっています。

(むら芝居サミット、秋まつり余興大会などについて話し合います)

## 加美の箬荷産「地紅茶」が完成 7年目

「はせがい紅茶」あぐり館などで販売 限定500パック

地元のお茶の葉で、紅茶づくり。箬荷地区の有志約30人でつくる「箬荷紅茶の会」(今中照子会長)が地元のお茶の葉から紅茶をつくりこのほど完成しました。平成14年4月に「箬荷紅茶の会」を発足させ、同年8月に初めて地紅茶を商品化しました。同会では、地元の資源を生かし特産化を図ろうと、地元の茶葉による紅茶づくりを発案。地区挙げて茶摘みを行い、商品化を進めています。紅茶づくりは7年目。平成15年秋には日本発の新商品「紅茶うどん」を開発し、17年2月には「紅茶クッキー」も商品化しています。

今年は5月11、12の2日間に、同会の茶畑(約300㎡)などで一番茶の茶摘みを行い、約70キロの生葉を鳥取県大山町の製茶工場に持ち込みました。70キロの生葉は20キロの紅茶に仕上がり、アルミパック詰めして商品化しました。

出来上がった「はせがい紅茶」は、ラベルに「むら芝居と水仙の里」をイメージしました。同会が紅茶づくりでアドバイスを受けている鳥取県紅茶の会会長の藤原一輝さん(53)にデザインしてもらいました。各地の地紅茶づくりを広めている藤原さんは「はせがい紅茶」について「箬荷地区の素朴な風味がうまくパックされた、いい紅茶が今年も出来上がった。香りと味わいのバランスが非常に良く、抜群の仕上がり。香りがダージリンに似ている」と評価しています。1パック30グラム入りで、500円(税込み)。限定500パック。加美区の「ふれっしゅあぐり館」「道の駅・R427かみ」「ラベンダーパーク多可」などで販売中。

箬荷紅茶の会会長の今中照子さんは「みんなの力で紅茶が仕上がりうれしい。味のほうは、昨年同様とてもいい香り。多くの皆さんに はせがい紅茶を飲んでもらいたい」と話しています。ふれっしゅあぐり館(TEL 0795-30-8210)



1パック30グラム入り  
500円(税込み)です。

## 7月13日(日)に川刈り・下刈り

夏恒例の川刈りと下刈りの日役作業が7月13日(日)に行われます。午前8時から午前中に川刈り、午後には大見坂林道等の下刈りが行われます。暑いとき、また日曜日でもありそれぞれに予定もあるかと思いますが、出役していただくようお願いします。各隣保長さんの指示で作業に当たっていただきますが、ケガ等のないようにお願いします。

と き 7月13日(日)午前8時～ 川刈り 午後1時～ 下刈り

## 7月5～6日に地紅茶サミットへ参加 箸荷から8名で高知県・四万十へ

第7回全国地紅茶サミットが7月5日(土)～6日(日)の2日間、高知県四万十町で開催されます。昨年は箸荷地区でサミットを開催し各地から大勢の皆さんにお越しいただいたので、今回はお礼のあいさつを兼ねて箸荷地区から8名で参加の予定。会場となる「道の駅・四万十とおわ」では道の駅の開店1周年記念イベントを兼ねて大々的な催しを計画。「全国地紅茶販売会」が企画されていて、箸荷紅茶も出品予定。大変な集客が見込めます(予想は2000人)。地紅茶ファンの皆さんには、全国の地紅茶を試飲できるチャンスです。道中長いですが、気をつけて・・・。

日時 平成20年7月5日(土)午後4時受付

会場 道の駅・四万十とおわ

高知県高岡郡四万十町十和川口 62-9

日程 ・5日(土)

全国地紅茶関連商品の販売(6/28～7/6)

懇親会(午後6時～)

・6日(日)

全国地紅茶サミット開催(午前10時～正午)

事例発表「しまんと紅茶の商品開発の秘密」

しまんと紅茶の商品開発のノウハウを皆さんにだけお聞かせします

シンポジウム「紅茶のお話と全国の動き」

多彩なゲストと一緒にシンポジウムをします

全国の紅茶の展開や事例を聞けます

うーみコンサート(午後1時～)

千と千尋の神隠し、チョーヤの梅酒のCMソング等を唄う

5月にメジャーデビュー

費用 サミット参加費 ・2000円(参加者全員)

懇親会費 ・5000円(懇親会出席のみ)

宿泊費 ・5000円(1泊朝食付き)基本2～4名様対応

柳瀬温泉(0880-28-5530)

・3500円(1泊朝食なし)基本1名様対応

ライダーズイン十和(0880-28-5858)

昼食代 ・1000円(7/6お弁当)

参加申込みおよび地紅茶関連商品の販売申込み

6月15日までにFAXで。FAX 0880-28-4875

問い合わせ 四万十ドラマ(道の駅・四万十とおわ内)

088028-5421

## 全国むら芝居サミットに参加しませんか

### 9月27～28日、新潟県上越市

9月27日(土)～28日(日)に開催される第5回全国むら芝居サミット in 新潟・上越にみんなで参加しませんか。むら芝居保存会ではただいま参加者を募集しています。興味のある方、行ってみたい方などなたでも参加OKです。ただいまのところ参加予定者は12名。いまから増える見込みです。

9月26日(金)の夜10時ごろに箸荷を出発、帰宅は28日の午後10時ごろの予定。申込みは区長さんか、今中達治さん、今中孝介へ7月23日まで。参加費は12,000円+の予定で宿泊費、懇親会費用などを含みます。バス代はむらづくり委員会で負担していただく予定ですが、なにせ3日間の行程になりますので、高くつくため安いバスを探すことになりました。まあ、旅行がてらに大勢で行きましょう。

今のところ地元を含め5団体が参加・上演の予定で、参加総人数は52名とか。毎回参加のいつものメンバーですが、愛知県北名古屋市の福祉座、新潟県佐渡市の赤泊演劇研究会、地元上越市の素人芝居大浦安、兵庫県豊岡市の宵田一座、そして箸荷地区です。再会が楽しみです。

- 1 開催日 平成20年9月27日(土)～28日(日)
- 2 公演会場 大島多目的ホール ふれあい館 電話 025-594-3900  
新潟県上越市大島区大平 3860
- 3 交流会・宿泊会場 上越市安塚区須川 ゆきだるま高原
- 4 日程  
27日(土) 11時までに公演会場に集合  
13時～16時30分 開会セレモニー～各団体の上演  
～閉会セレモニー  
16時30分～18時 宿泊・交流会場へ移動・温泉入浴  
18時～21時 各団体の活動紹介・交流懇親会 21時以降は一夜談義  
28日(日) 8時30分～9時30分 代表者会議  
9時30分～現地見学・観光 11時30分散散予定
- 5 参加費 交流会のみの方 6,000円  
(予定) 交流会・宿泊の方 12,000円

## 箸荷の紅茶焼酎づくり 経過は順調

### 来年6月に完成

箸荷地区の有志で進めている「紅茶焼酎」づくり。地元産のコシヒカリと紅茶を使った焼酎の醸造をお世話になっている鳥取県の梅津酒造から、蒸留完了の報告が届きました。実にうまく仕上がっているみたいで、経過は順調です。約250リットル アルコール分約41度。25.5度換算で約400リットル。720ml容器だと550本程度になります。実際にこれから貯蔵、熟成する間に欠減が出るので、いくらか目減りするらしいです。以下、梅津社長さんのコメントです。

「味についてですが、さすがに蒸留したばかりなので、なんとも言えませんが、私の経験に照らすと、良い感じですよ。蒸留したてのものは、紅茶の香りもほんのりしますが、それ以外の雑多な香りが強く漠然とした香りです。液もよく濁っています。これから暫くはガスが抜け、油分が浮かんでくるのを掬い取ります。そして、夏を越し、冬の低温で余計な脂肪分等が液中に集まって雲の様になり、周囲は澄んできます。冬に簡単にフィルターを

通して、それらの凝集した脂肪分等をサッと漉し取ります。で、一冬越すとグッと味が透き通り、個性が浮き出てきます。つまり雑多な味を取り除かれて、本来の紅茶の味わいがほんのり表に出てくるのでは、と予想しています。米で基本的なアルコール醗酵を行いましたが、できるだけ米の個性は出ないようにしたつもりですが、これが果たして効果があるかどうかはこれからを見ないとなんとも言えません。米の香りと紅茶の香りがうまくマッチしてくれるとありがたいのですが・・・。原材料表示は「清酒粕、紅茶」です。いただいた米で清酒を仕込み、搾った残りの清酒粕を使って再度、紅茶とで仕込んだものです。取り急ぎ、途中経過をお知らせします。」 うーむ、仕上がりが楽しみ・・・。

## はせがいの動き

4 / 8 全国むら芝居ネットワークに新しく1団体の加入がありました。大分県佐伯市の劇団「とんぼ」さん。平成9年10月に設立され、活動年数は10年ほどになるそうです。メンバーは男性10人、女性5人の計15人。大衆演劇に魅せられて設立に至ったらしく、年1回の公演では歌、舞踊、人情芝居の3部構成でショーを開催しているとか。舞台装置、衣装等にこだわり、出し物も豊富。ぜひ一度拝見したいものですが、まずは今年9月のサミット（新潟県上越市）でお会いすることです。これで加入数は24団体になりました。

4 / 13 地区内の花壇の植え替えをむらづくり委員会で行いました。早朝から大勢の皆さんに出でいただき、ペチュニアやベゴニアなど約500本を7カ所（むらづくり館、グラウンド、大見橋、才田、中島、4隣保、5隣保）の花壇に植えました。30人を超す皆さんに出でいただいたので、1時間ほどで作業を終えることができました。とてもきれいになりました。皆さん、おつかれさまでした。

6 / 2 むらづくり館で、ケーブルテレビの説明会がありました。来年3月末日をもって現在の「かみテレビ」が閉局となり、新しく多可町のケーブルテレビとなります。エリアが中区と八千代区にも広がり、地上デジタル放送にも対応します。局舎は町が整備し、ケーブルは民間の光ファイバーケーブルを借りる計画。利用料金はテレビはそう変更はありませんが、インターネット料金が値上がりとなる予定。でも、そのスピードは格段にアップするそうです。集落説明会は、加美区から始まり八千代区、中区へ。7月まで続きます。

6 / 14 加美区4部の役員さんたちが淡路の洲本市へ「菜の花エコプロジェクト」の視察研修に参加。箸荷、杉原、奥豊部、観音寺の4集落の皆さんが、今年度からバイオマスタウン構想の取り組みの一環として菜の花栽培をしてみようと、視察研修を計画されたものです。洲本市では平成13年度から菜の花栽培に取り組み、菜の花から菜種油の搾油、そしてバイオディーゼル燃料精製などを進めています。加美の4部地区でも今秋から栽培を研究してみようということになり、すでに3月の村総会で承認もされています。エコロジーな実践、取り組みとして成功するかどうか、期待がかかります。

6 / 14, 15 「楽久賀喜会」の皆さんがご夫婦で旅行に。行き先は道後温泉だったので、皆さん元気にお帰りになりました。楽しかったでしょうね。

## の・ん・べ・え・編・集・室

姫路市へ劇団ふるさときゃらばんのミュージカル「地震、カミナリ、火事、オヤジ」を観劇に行ってきました。同劇団が全国の消防団を取材し、消防団を描いたミュージカル。数年前に箸荷地区にも取材にお越しになりました。

2時間40分の公演は楽しくて、あっという間に過ぎました。田舎の消防団で活動する分団長の姿を物語りにしてあり、共感できるところがいっぱいありました。同劇団は全国各地を公演に回っています。ぜひ、機会あれば観てください。

URL <http://www.haseshow.com>